

令和元年度福岡市手をつなぐ育成会総括事業報告

1 令和元年度の法人の取り組みについて

令和元年12月に中華人民共和国湖北省武漢市で発生した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、年を明けて1月には中国全土を、そして2月には日本や欧米諸国を中心に爆発的に感染が拡大し、現在世界中で未曾有の公衆衛生上の危機に発展しています。これまで、当たり前であった私たちの日常生活は一変し様々な制約を受けています。全国の福祉事業所でも集団感染が発生し、その施設運営にもかつてない支障が生じ、利用者やその保護者への影響は甚大なものです。

5月に入り、少しずつ感染拡大は収まりつつありますが、未だ予断を許さない状況です。そのため、法人職員一体となり、それぞれの立場で今できることを共に取り組み、事業所本来の姿を取り戻す日が一日も早く来るように日々の業務に努めて参ります。

さて、当法人の昨年度の事業としては、雇用の場である就労事業が一部の事業で契約が取れずに減収になりました。ただ、福祉サービス事業は全体としては順調に推移しています。また、法人としましては働き方改革に対応できるよう（サービス業として当法人は大企業に属する）この4月1日に就業規則を大幅に改正しました。

また、福岡ひまわりの里においては開設30年を経過し、開所当時想定してなかった様々な課題の解決の方向性として移転新築計画を決定し、早良区四箇5丁目にその用地を確保することとなりました。今回のような感染症について、施設内での対策や医療機関との連携の困難性を鑑み、滞りなく計画を進めて参ります。

権利擁護の取り組みとしましては、平成31年1月1日付けで施行された福岡市における「差別解消法を推進するための条例」の啓発推進のため、「福岡市障害者差別をなくす会」の活動に参画しました。また、今年度も法人内では保護者会と合同で取り組む虐待防止対応チームによる「虐待防止アンケート調査」「利用者満足度調査」の調査報告をもとに職員向け研修を行い、各事業所の利用者が安心して利用していただけるよう取り組んでいるところです。育成会の社会的使命（ミッション）である「権利擁護」「政策提言」は、その事業推進の源となる経営の視点を含め、各施設長をとおり法人職員全員で共有して参ります。

地域貢献につきましては、「ふくおかライフレスキュー事業」に参画し事業運営に協力して参りました。ただ、先の見えない社会情勢の不安を鑑み、法人のステークホルダーだけでなく、地域住民のニーズへの対応、情報の発信に一層力を入れて参ります。

福祉人材の確保につきましては、予定していた採用数を確保することができました。

今回の新型コロナウイルス感染拡大による経済混乱はありますが、今後も人材の確保は厳しくなると予想しています。将来の法人を支える人材の確保については計画的に進めて参ります。

全国手をつなぐ育成会連合会はこの4月1日をもちまして新たに法人格を取得して「一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会」となりました。事業をしていくためにも法人格が必要とされるからです。活動の柱になるのは「権利擁護」とそのための「政策提言」であることは従来と何ら変わりません。当法人も正会員のひとつとしてこれまでと同様に活動してまいります。

2 基本理念

- 1 障がいのある人とその家族（保護者・きょうだい・養護者を含む）のライフステージのあらゆる場面で障がいのある人を中心に支援を行います。
- 2 障がいのある人が地域でその人らしい生活がおくれるように、地域に根付いた取り組みを行います。
- 3 障がいのある人の尊厳を重んじその自立を支援し、権利保障に取り組みます。
- 4 事業にかかわるすべての人の人格を尊重します。

3 基本方針

- 1 保護者と手をつなぎ、障がいのある人・家族の思いを尊重し事業を進めます。
- 2 障がい者団体を始め他の機関と連携を図り、地域に開かれた取り組みを行います。
- 3 風通しがよく働きがいのある職場を目指します。
- 4 組織を整理し、財務の健全性を確保します。
- 5 事業を不断に見直し、業務の質の向上を追求します。
- 6 人材育成に努め、研修を計画的に行います。

項目ごとの内容は、以下のとおりです。

4 事業の取り組み

（1）評議員会の開催

開催年月日	内 容
定時評議員会 令和元年年6月20日 8名出席	〔議案〕 第1号 平成30年度 計算書類（案）について 第2号 新役員の選任（案）について 第3号 平成29年財産目録の修正について 〔報告事項〕 (1) 福祉充当残額について (2) 事業報告について

第1回臨時評議員会 令和元年12月26日 決議の省略による	〔議案〕 第1号 定款の一部を改正する定款（案）について 第2号 役員報酬総額の範囲と役員及び評議員の報酬等に関する規程の一部を改正する規程（案）について
-------------------------------------	---

(2) 理事会の開催

開催年月日	内 容
第1回理事会 令和元年6月5日 9名出席	〔議案〕 第1号 平成30年度 事業報告（案）について 第2号 平成30年度 計算書類（案）について 第3号 平成30年度 新役員候補者（案）について 第4号 職員就業規則及び嘱託職員、臨時職員、パート職員就業規則の一部改正（案）について 第5号 平成29年度財産目録の修正について 第6号 定時評議員会の召集決定（案）について 〔報告事項〕 (1) 平成30年度 福祉充実残額について (2) 平成30年度 福岡市の社会福祉法人等の実地指導の結果等について
第2回理事会 令和元年6月21日 9名出席	〔議案〕 第1号 理事長の選定について 〔報告事項〕 (1) 平成30年度福岡市の社会福祉法人等の実地指導の結果等について
第3回理事会 令和元年10月3日 決議の省略による	〔議案〕 第1号 評議員候補の推薦（案）について 第2号 令和元年度 第1回評議員選任・解任委員会の召集（案）について
第4回理事会 令和元年10月31日 9名出席	〔議案〕 第1号 定款の一部を改正する定款（案）について 第2号 役員報酬総額の範囲と役員及び評議員の報酬等に関する規程の一部を改正する規程（案）

	<p>について</p> <p>第 3 号 就業規則の一部を改正する規則（案）について</p> <p>第 4 号 福岡ひまわりの里の移転新築を見据えた土地の購入計画（案）について</p> <p>第 5 号 臨時評議員会の召集決定（案）について</p> <p>〔報告事項〕</p> <p>（１）評議員の選出について</p> <p>（２）福岡ひまわりの里実地指導の結果について</p> <p>（３）理事長の職務実行状況について</p>
<p>第 5 回理事会</p> <p>令和 2 年 2 月 28 日</p> <p>8 名出席</p>	<p>〔議案〕</p> <p>第 1 号 定款施行細則の一部を改正する細則（案）について</p> <p>第 2 号 就業規則及び給与規程の一部を改正する規程（案）について</p> <p>第 3 号 公益通報者保護に関する規程（案）について</p> <p>第 4 号 福岡ひまわりの里移転新築事業計画（案）について</p> <p>第 5 号 福岡ひまわりの里の移転新築に係る工事設計監理委託の指名見積もり合わせ業者候補の選定（案）について</p> <p>〔報告事項〕</p> <p>（１）令和 2 年度の清掃事業部の運営について</p>
<p>第 6 回理事会</p> <p>令和 2 年 3 月 31 日</p> <p>決議の省略による</p>	<p>〔議案〕</p> <p>第 1 号 平成 31 年度補正予算（案）について</p> <p>第 2 号 令和 2 年度事業計画（案）について</p> <p>第 3 号 令和 2 年度予算（案）について</p> <p>第 4 号 経理規程の一部を改正する規程（案）について</p> <p>第 5 号 就労 A 型と事業部の就業規則の一部を改正する規則（案）について</p> <p>第 6 号 福岡ひまわりの里の移転新築に係る土地購入仮契約（案）について</p> <p>第 7 号 福岡ひまわりの里の移転新築に係る設計監理契約事務所の選定（案）について</p>

	第 8 号 施設長人事（案）について 〔報告事項〕 （１）理事長の職務執行状況報告について
--	---

（３）運営協議会の開催

開催日時	内容
第 1 回運営協議会 令和元年 8 月 22 日 9 名出席	協議事項 1 委員長の選出について 協議事項 2 法人及び各事業所の事業運営について

（４）事業推進会議の開催

令和元年度は以下の会議を開催し、事業の推進及び改善に努めてまいりました。
なお、令和 2 年 2 月から 3 月末までは、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から各検討会議・委員会活動等は見合わせております。

①法人運営について

ア経営会議

法人の経営方針及び職員の人事管理等について理事長・事務局長・施設長で年 2 回開催し協議を行い法人運営の推進を図りました。

イ運営会議

毎月 1 回、事業の推進や計画並びに各種検討会議の状況や施設運営の状況、保護者会との連携、福祉情報の伝達等法人の運営に関わる事項について、理事長・事務局長・施設長・保護者会会長等で協議を行い、円滑な事業推進を図りました。

② 各種検討会議について

ア 組織・人事・給与等に関する検討会議

法人全体の組織・人事・給与に関する検討を、理事長、理事、施設長、事務局長、事務局職員等で構成する小グループ検討員会を中心に年間 8 回実施しました。令和元年度は国が推める働き方改革等の法改正に対応する他、現行の就業規則では対応できない、明確でない事に対応できる規程整備を行いました。新しい就業規則は令和 2 年 4 月より施行しています。

イ 福岡ひまわりの里あり方検討会議

隔月に 1 回、福岡ひまわりの里の課題や今後の方向性について、理事長、施設長、保護者、事務局で検討を進めました。

懸案だった移転新築用地について早良区四箇に確保する目途が立ちましたので、福岡ひまわりの里の移転新築計画の作成、用地購入の契約等について理事会の承認を得ました。今年度は、本格的に新しい福岡ひまわりの里移転新築に向けて事業推進します。

ウ 虐待権利擁護・虐待防止機能に関する検討会議（虐待防止委員会）

障害者虐待防止法の趣旨を実現するために、各事業所の職員が中心となって「虐待防止対応チーム」を設置し、毎月1回協議を行いました。

今年度も、利用者への満足度調査・各事業所の施設現場訪問等を行い、利用者への満足度調査の結果を元に、11月21日と28日の2回に分けて全職員を対象に研修を行いました。

エ 共同事業検討会議

育成会会員を対象とした交流事業と、各事業所職員による実践発表の企画・開催について各事業所の職員が中心に検討を行いました。

交流事業は、福岡市立障がい者スポーツセンターを利用して、11月14日に各事業所の利用者・職員・保護者等で秋の交流会を実施しました。

実践発表会は、3月に市民福祉プラザの研修室で全職員を対象に「第4回実践発表会」を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から開催を見合わせ延期しました。

オ 本人活動支援会議

本人主体の自主活動を支援するため月1回開催される本人部会役員会の支援を中心に行いました。育成会本人大会の参加や親睦会イベントを開催しました。

カ 事業部・A型検討会議

従業員の高齢化や厳しい運営状況・業務受託等の関係で不安定な運営が続く就労継続支援A型事業所と清掃事業について理事長・施設長、事務局長・主任・現場職員等で今後の方向性や課題解決に向けて年4回開催し協議を行いました。

事業部においては、新しく SFI 福岡ビル（福岡市中央区長浜）の清掃業務を株式会社シー・エス・ビルサービスより受託しました。

令和元年末で福岡市障がい者スポーツセンターが指定管理に移行するに伴い、清掃業務がなくなったため令和2年度は大幅な収入減が見込まれました。そのため、従業員の勤務時間を6時間（社会保険加入）から4時間（社会保険未加入）に切り替えざるを得ませんでした。

A 型事業所については、令和2年度より天神にある新しく整備された水上公園の一部の清掃業務を西日本鉄道株式会社より受託しました。しかし、こ

れまで清掃業務を受託していた博多区公園清掃の委託契約が公募に変更になり経営状況は不安定なままです。また、利用者の高齢化が進み体力や能力の低下も見られるようになったため、勤務時間を事業部従業員と同じく4時間に変更し今後の対応について検討しています。

キ 法人運営強化を図る為の会議の開催について

事務担当者会議 年2回実施（会計部門の監査指摘事項について確認等）しました。

税理士による助言指導 年2回実施（予算・決算等について）しました。

施設管理者・事務担当者会議 年2回実施（予算・事業計画作成時等）しました。

③ 各種検討委員会について

ア 虐待防止委員会

報告については（4）事業推進会議の開催 ②のウのとおりです。

イ 作業開拓工賃向上委員会

就労系3事業所の職員が中心となり、隔月で検討会議を行い販売への取り組み、各事業所の取り組みについての理解や職員同士の情報交換を行い売り上げの向上につなかりました。

ウ 高齢利用者支援委員会

生活介護系事業所3事業所（ひまわり園・福岡ひまわりの里・ひまわりパーク上牟田）の職員が中心となり、隔月開催で各事業所の事例についてケース検討を行うことで、利用者支援の理解を深め支援技術の向上に努めました。

エ 研修プログラム策定委員会

各事業所の職員が中心となり、隔月開催で職員の研修プログラムの在り方について検討しています。その検討をもとに新任職員研修を実施しました。内容については、3職員について（2）研修について③のとおりです。

3 職員について

（1）職場環境等の改善について

①個人でソーシャルメディアを利用する際に不適切な投稿等によって大きな社会問題となった現状を踏まえ、当法人のソーシャルメディア利用管理規程を改正しそのリスクについて理解し、利益や権利を侵害しないように周知しました。

②処遇改善加算と特定処遇加算申請の検討について

月2万円の処遇改善手当や昇給分等に充てて職員に支給し処遇改善を図りました。また、特定処遇改善加算について検討を行い、令和2年度より申請を予定しています。金額は令和元年度実績で約950万円を見込んでいます。職員の給与面での改善のみならず、資格取得や職場定着の促進につながることを期待しています。

③職員登用試験の実施。

1月から2月かけて職員登用試験を実施。その結果、13名が受験し、8名を正規職員等に登用しました。

(2) 研修について

①一般研修

- ・新任職員研修を4月25日に実施しました。
理事長より社会福祉法人職員として働く姿勢、保護者会長より知的障がいの疑似体験等を行いました。
- ・中堅職員研修
主任・中堅職員研修を8月19日・29日の2回実施しました。
リーダーの役割やコミュニケーションの在り方について、外部講師を招き実施しました。
- ・施設長研修
5月31日 施設長研修
ふくおか県政出前講座による、働き方改革制度の概要について研修を実施しました。

②人権・虐待防止研修

- ・権利擁護・虐待防止研修11月21日・28日に法人全職員を対象として実施しました。
内容については、虐待権利擁護・虐待防止機能に関する検討会議（虐待防止委員会）の報告のとおりです。

③新任職員フォローアップ研修（研修プログラム策定委員会主催）

11月11日に新任職員を対象とするフォローアップ研修としてアセスメント体験等を実施しました。

④専門研修

- ・令和元年11月8日～9日に3法人合同で開催しました。
箕一誠講演会「スムーズな職員の引き継ぎについて、利用者支援に関するディスカッション」について研修を実施しました。
- ・各事業所で現場が希望する内容で研修を企画し実施しました。

⑤その他の研修

各機関（県、市、社協）、施設種別ごとの研修会、民間外部研修等に参加しました。

（３）職員採用について

職員の採用については、人材確保が非常に困難な状況でしたが、事業所と連携して対応し、職員確保を図りました。そのため、福祉の合同職場面談会に参加するだけでなく、初めて一般企業向けの職場合同説明会にも参加しました。また、ハローワークだけでなく各福祉系学校を訪問し当法人の求人について周知に努めました。

４ 社会福祉法人が果たすべき地域貢献について

社会福祉法人が果たすべき公益的な地域貢献の役割については、「ふくおかライフレスキュー事業」に参画し事業運営に協力しました。

５ 関係団体との連携強化

（１）全国手をつなぐ育成会連合会の全国大会及び九州地区手をつなぐ育成会連絡協議会の九州大会等に参加して、連携と情報の収集を図りました。

大会参加状況

- ① 名称 第５回全国手をつなぐ育成会大会 熊本大会
（併催 九州地区手をつなぐ育成会大会）

期 日 平成元年１１月２３日～２４日

会 場 熊本市 熊本城ホール

参加者 施設長・職員等１２名参加

- ②名称 第９回権利擁護セミナー（in 鹿児島）

期 日 令和元年１１月１８日

会 場 サンプラザ天文館 ７階ホール

参加者 職員１名

- ③ 名称 平成元年度全国手をつなぐ育成会事業所協議会
全国研修大会 静岡大会

期 日 令和２年１月２５日

会 場 静岡商工会議所静岡事務所 ５Ｆホール

参加者 職員１名

（２）保護者会との連携

育成会の各種大会の参加や日常業務に至るまで保護者会との連携を図り、事業推進と運動推進との一体的な取り組みに努めました。

(3) 手をつなぐがん保険の運営

育成会会員である知的障がいのある方と家族を対象のがん保険について、令和2年度に加入申し込みを行い運用開始に向け、定款細則の一部を改正しました。3月に保護者に対する説明会を予定していましたが、コロナウイルス感染拡大の観点から説明会を見合わせています。令和2年度に開始できるように保険会社（東京海上日動・ぜんち共済）と協議しています。

6 情報提供活動

(1) 福岡市育成会だより（機関紙）発行

編集委員会（各部所から選出）を開催し機関紙を年4回発行しました。

法人の活動紹介だけでなく、消費生活センターの情報や保護者会からの災害時の対応等を掲載し広く周知に努めました。

発行部数 1, 500部

- ・162号 令和元年7月発行
- ・163号 令和元年11月発行
- ・164号 令和2年1月発行
- ・165号 令和2年3月発行

(2) 全日本育成会月刊誌「手をつなぐ」の配布

70部を配布し育成会の活動を購読者に知っていただいています。購読者の拡大が課題となっています。

7 相談支援活動

【知的障がい者相談員の相談活動】

福岡市から委嘱された相談員（26名）が毎週水曜日（10:00～15:00）に当番制で事務局において様々な相談に応じるほか、自宅においても電話による相談に応じました。3月中旬より、コロナウイルス感染拡大防止の観点から、福岡市との協議のうえ電話相談のみで対応しました。

また、研修会は年間をとおして3回実施しました。（コロナウイルス感染拡大防止の観点1回中止）

・相談回数 47回 ・相談件数 48件 ・研修 3回

【相談内容】

療 育	教 育	進 路	施 設 入 所	施 設 通 所	福 祉	人 権	余 暇
0	8	4	2	4	12	1	1
親 亡 き 後	医 療	結 婚	就労	その他	合計		
0	0	0	2	14	48		

8 事業活動

(1) 事業部清掃事業

障がい者の就労事業として、令和元年度は9カ所の清掃業務の委託を受け、従業員22名、指導9名のスタッフで業務を遂行しました。

(2) 緊急一時介護事業

福岡市から委託を受け、心身障がい児（者）がいる家庭において保護者等の疾病、事故、出産、冠婚葬祭等のために介護が困難な時に、家族に代わって介護ヘルパーが手助けを行いました。

【 令和元年度実績 】

区 分		数 値
利用登録者	総 数	70人
	18才未満	35人
	18才以上	35人
ヘルパー登録者数		56人
利用状況	利用者実数	3人
	利用者延べ日数	87日
介護時間		445時間
利用者一人当たり平均年間介護時間		148時間

9 災害・緊急時の法人対応について

今年度は特に被害がでるような災害はありませんでしたが、大雨警報時は、各事業所と連携を取り利用者・職員の安全確保に努めました。

令和2年3月からの新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、各事業所と密な情報交換に努め、福岡県市の対応マニュアルに基づき運営を行い、現在のところ感染者は出ておりません。

10 地域生活支援事業

(1) グループホームの運営

知的障がい者の自立や地域での生活を支援するため、3つのグループホーム（ひまわりハウス）を運営し、早良ひまわりハウスを中心にひまわり園及びひまわりパーク六本松・同上牟田の職員が連携し、毎週各ハウスを巡回し生活指導にあたる等、バックアップ機能として入居者の生活安定の支援を図りました。

早良ひまわりハウス 1

設置年月日	平成 29 年 4 月 1 日
設置場所	福岡市早良区東入部 1 丁目 9-1
利用者数	定員 10 名 現員 10 名

早良ひまわりハウス 2

設置年月日	平成 29 年 6 月 1 日
設置場所	福岡市早良区東入部 1 丁目 9-1
利用者数	定員 5 名 現員 5 名

第一ひまわりハウス

設置年月日	平成 13 年 10 月 1 日
設置場所	福岡市西区今宿東 1 丁目 16-332
利用者数	定数 4 名 現員 4 名

第二ひまわりハウス

設置年月日	平成 16 年 1 月 15 日
設置場所	福岡市南区皿山 1 丁目 9-39
利用者数	定数 5 名 現員 4 名

第三ひまわりハウス

設置年月日	平成 25 年 3 月 1 日
設置場所	福岡市西区壱岐団地 34 棟 201・301 号室
利用者数	定数 4 名 現員 4 名

11 スポーツ、文化活動への参加

以下のスポーツ大会等に参加しました。

(1) スポーツ関係

- | | |
|----------------------|------------------|
| ・第 25 回福岡都市圏ボウリング大会 | 令和元年 6 月 24 日 |
| ・第 24 回福岡市障がい者スポーツ大会 | 令和元年 9 月 24 日 |
| ・第 18 回全国障がい者スポーツ大会 | 中止 |
| ・第 28 回全国障がい者ボウリング大会 | 中止 |

(2) 文化活動関係

- ・令和 2 年度親子レクリエーション（福岡市こども未来局委託事業）
市内の在宅障がい児及び保護者を対象に令和元年 11 月 16 日（土）に北九州市ある「いのちの旅博物館」「響灘緑地グリーンパーク」にバスツアーを企画し、障がい児の親子レクリエーション事業として実施いたしました。
参加者 親子 88 名（内、スタッフ 8 名）

・第12回福岡市障がい児・者美術展

令和元年12月12日～17日まで、福岡アジア美術館にて開催。一般の部、小中学生の部で昨年を上回る応募がありました。当法人も他関係団体とともに運営に参画しました。

・令和元年度福岡市障がい者週間記念のつどい

令和元年12月8日に、福岡市役所西側ふれあい広場で開催されました。当日は11,000人を越える来場者があり、式典、ステージイベント、販売ブース等で大いに盛り上がりました。当法人も他関係団体とともに企画運営に参画しました。

12 福祉施設の運営

(1) 福岡ひまわりの里（障がい者支援施設）

定員	50名	実数	49名	(令和2年3月31日現在)
事業内容	① 生活介護事業 ② 施設入所支援事業			

(2) ひまわり園（障がい福祉サービス事業所）

定員	60名	実数	73名	(令和2年3月31日現在)
事業内容	① 就労移行支援事業 ② 就労継続支援事業 B型 ③ 生活介護事業			
施設外事業	福岡市役所地下「星の広場」で飲食販売（就労移行支援事業） 店名「カフェ サンフラワー」			

(3) ひまわりパーク六本松（障がい福祉サービス事業所）

定員	36名	実数	35名	(令和2年3月31日現在)
事業内容	① 就労移行支援事業 ② 就労継続支援事業B型			

(4) ひまわりパーク上牟田（障がい福祉サービス事業所）

定員	40名	実数	35名	(令和2年3月31日現在)
事業内容	① 生活介護事業 ② 就労継続支援事業A型 ③ 就労継続支援事業B型			

(5) ライフサポートてをつなぐ（居宅介護事業所）

契約者数	75名	実利用者	27名	(令和2年3月31日現在)
事業内容	①居宅介護事業 ②移動支援事業			

(6) 特定相談支援事業所ひまわり（計画相談支援事業所）

- 事業内容 ①障がい者指定特定相談支援事業
 ②障がい児指定特定相談支援事業

(7) 早良区第2障がい者基幹相談支援センター

- 事業内容 ①指定一般相談支援事業
 ②指定特定相談支援事業
 ③指定障がい児相談支援事業